

平成 28 年 5 月 11 日

福島大学 経済経営学類

2016 年度 新入生学外研修・被災地見学について

福島大学では、福島県の復興・地方創生に寄与する人材を育成すべく、「ふくしま未来学 (COC)」をはじめ、被災地と連携する様々な研修プログラムが開発されています。「ふくしまの未来を担う地域循環型人材育成の展開 (COC+)」では、福島県の復興・地方創生に寄与する人材の福島県への定着が志向されています。このことを踏まえ、福島県の復興・地方創生に寄与する人材の育成・定着のすそ野を広げるべく、福島大学経済経営学類では、今年度、試行的に、ふくしま未来学 (COC) 推進室事務局と協力して、福島県内の被災地見学を組み入れた新入生学外研修を、全ての新入生に対して、実施します。

実施にあたり、学生・教員に、今回の学外研修について合同説明会を実施し、学生の保護者に今回の学外研修について情報提供し、検討頂き、学外研修の行き先・実施内容などを決めました。見学は、学生・教員が数十名ずつに分かれて、伊達市・楡葉町・川内村・南相馬市・金山町などをそれぞれ訪問し、地域の現状を地域の方々から学び、地域の住民と交流します（実施内容などの詳細は添付資料をご覧ください）。

今後は、現地のことを詳細に記したしおりをもとに、あらかじめ現地について学び、各自の目標を設定します。その各自の目標を運営側で把握し、経済経営学類 2 年生のチューター10名とふくしま未来学推進室事務局で下見を行い、見学に備えます。見学後は全ての参加者から振り返りシートを回収し、チューターとの振り返り、今回の学外研修の経験をもとに、福島県内の被災地見学を組み入れた研修の在り方を探ります。そして、福島県の復興・地方創生に寄与する人材の育成・定着のすそ野を広げることへの寄与を見通します。

各訪問先プランの取材、歓迎です。お問い合わせ等、下記の問い合わせ先までご連絡ください。以上、ご報告いたします。

記

- 日 程： 5月14日（土）、5月21日（土）、6月4日（土）、6月11日（土）など
- 行き先： 伊達市、楡葉町、川内村、南相馬市、金山町 など
- 参加者： 福島大学 経済経営学類 1年生全員
2年生 約10名、教職員 約20名（総勢 約260名）
- 主 催： 福島大学 経済経営学類
- 協 力： ふくしま未来学 (COC) 推進室事務局

【お問い合わせ先】

福島大学 経済経営学類 学生生活委員
Tel : 024-548-8423
Mail : numata@econ.fukushima-u.ac.jp
担当 : 沼田

福島大学 経済経営学類 2016年度 新入生学外研修・被災地見学 訪問先プラン

各地域の見学行程は、以下のとおりです。

日時	訪問先	内容	人数 (教職員含む)
5月14日(土) 8:45~17:45	伊達市	【目的】 原発事故による被害と農作物の風評被害払拭にむけた取り組みを知る、世界に誇れる高度な技術を持った企業(産業)の地域における役割を知る	82人
		9:30 伊達市役所訪問 10:30 【Aコース】JA ふくしま未来伊達地区訪問(伊達市保原町七丁目 33-3) 桃農家畑見学、JA 担当者から6次化についてお話を伺う 放射性セシウム測定検査見学 10:30 【Bコース】富士通アイソテック(株)訪問(伊達市保原町東野崎 135) 企業の地域貢献についてお話を伺う、工場見学 13:30 学生と教員の交流バレーボール @富士通アイソテック スポーツプラザ 16:30 百彩館んめーべ訪問(伊達市雪車町 19)	
5月21日(土) 8:00~18:00	檜葉町	【目的】 平成27年9月に避難指示解除された町の現状を知る、地域の方との交流をとおして檜葉町の自然と暮らしを知る	40人
		10:15 語り部の方と檜葉町内めぐり(ここなら商店街、天神岬等) 11:15 木戸川漁業協同組合訪問(檜葉町前原中川原 68) 13:30 新緑の木戸川溪谷遊歩道ウォーキング (ならばスポーツクラブのみなさんとともに)	
6月4日(土) 8:00~18:00	川内村	【目的】 震災から現在までの村の現状や変化を知る、帰還して4年を迎える住民の生活を知る	22人
		10:00 村民とカーリンコンで交流(川内村村民体育館) 13:00 除染廃棄物仮置き場見学、担当者からお話を伺う (川内村大字上川内字大津辺 30 番地外 5) 14:30 野菜工場 KiMiDoRi 見学(川内村大字下川内字松川原 11)	
6月4日(土) 8:00~18:00	南相馬市	【目的】 津波・地震・原発による被害状況を知る、復興に向けた取り組みを知る	41人
		10:00 菅野漬物食品 社長講話、店舗見学(南相馬市鹿島区永田字北永田 28-3) 13:00 津波被災地見学(小高区塚原地区) 13:30 小高区の住民と交流イベント(小高駅前)	
6月11日(土) 8:00~18:30	金山町	【目的】 原発から130km離れた地域の放射性物質による被害と影響を知る、町民との交流(農業体験)をとおして、超高齢化集落の実態を知る	44人
		10:30 金山町役場訪問 11:00 マタギ猪俣昭夫さん(場所役場予定: 金山町川口谷地 393) 原発事故による影響についてお話を伺う 13:30 「奥会津エゴマの会」の町民とエゴマの植付体験(金山町横田地区)	

※訪問内容及びスケジュールは、一部変更になる場合があります。

2016年度
福島大学 経済経営学類
新入生学外研修・被災地見学

2016年5月11日

福島大学 経済経営学類 学生生活委員
沼田 大輔

背景

- 福島大学では、福島県の復興・地方創生に寄与する人材を育成すべく、「ふくしま未来学(COC)」をはじめ、被災地と連携する様々な研修プログラムが開発されています。
- 「ふくしまの未来を担う地域循環型人材育成の展開(COC+)」では、福島県の復興・地方創生に寄与する人材の福島県への定着が志向されています。

内容

- このことを踏まえ、福島県の復興・地方創生に寄与する人材の育成・定着のすそ野を広げるべく、
- 福島大学経済経営学類では、今年度、試行的に、
- ふくしま未来学(COC)推進室事務局と協力して、
- 福島県内の被災地見学を組み入れた新入生学外研修を、
- すべての新入生に対して、実施します。

昨年度までは「大学に慣れるための研修」を、すべての新入生に、各教員が演習単位で実施。その中で、個別に教員が、被災地見学・地域の実情を知る研修を実施していたところもあります

被災地見学概要

日 程:

5月14日(土)、5月21日(土)、6月4日(土)、6月11日(土)など
学生・教員が数十名ずつ分かれて訪問

行き先:

伊達市、楢葉町、川内村、南相馬市、金山町 など

内 容: 地域の現状を地域の方々から学び、
地域の住民と交流

参加者:

福島大学 経済経営学類 1年生全員、
2年生 約10名(チューター)、教職員 約20名 (総勢 約260名)

主 催: 福島大学 経済経営学類

協 力: ふくしま未来学(COC)推進室事務局



伊達市 (5月14日) (人数: 82名)

【目的】 原発事故による被害と農作物の風評被害払拭にむけた取り組みを知る
世界に誇れる高度な技術を持った企業（産業）の地域における役割を知る

時間	内容
8:45	福島大学 出発
9:30	伊達市役所訪問
10:30	【Aコース】JAふくしま未来伊達地区 ・ 桃の生産者からお話を伺う（桃畑） ・ JA担当者から震災後の風評被害に打ち勝つ加工品づくりの挑戦と取り組みについてお話を伺う ・ 放射性セシウム測定検査の見学
	【Bコース】富士通アイソテック株式会社 ・ 伊達市への地域貢献についてお話を伺う ・ 工場見学
12:30	昼食 @富士通アイソテック内 食堂
13:30	【学生委員企画】バレーボール @富士通アイソテック内 スポーツプラザ
16:30	みらい百彩館んめーべ訪問
17:45	福島大学 到着



写真:イメージ

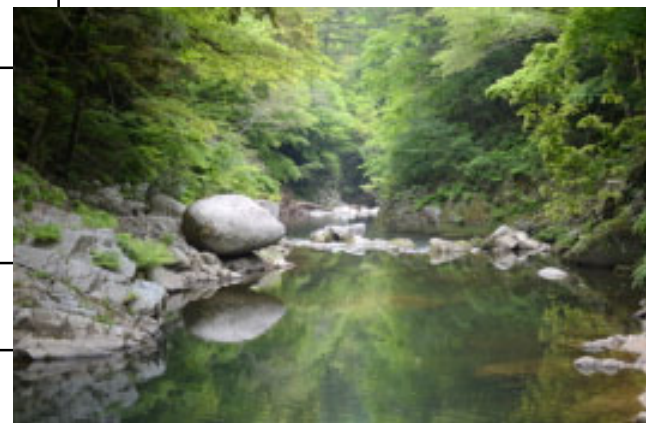


写真:富士通アイソテックホームページ

楢葉町(5月21日)(人数 40名)

【目的】 平成27年9月に避難指示解除された町の現状を知る
地域の方との交流をとおして楢葉町の自然と暮らしを知る

時間	内容
8:00	福島大学 出発
10:15	【見学】語り部の方と楢葉町めぐり ・ここなら商店街、天神岬などを語り部の方に案内いただく
11:15	【学ぶ】木戸川漁業協同組合訪問 ・漁協職員の鈴木謙太郎さんに話を伺う
12:30	昼食(木戸川ダム局予定)
13:30	【交流】木戸川溪谷遊歩道ウォーキング ・ならはスポーツクラブのみなさんとともに新緑の木戸川溪谷を歩く
15:30	楢葉町 出発
18:00	福島大学 到着



川内村(6月4日)(人数 22名)

【目的】 震災から現在までの村の現状や変化を知る
帰還して4年を迎える住民の生活を知る

時間	内容
8:00	大学出発
10:00	【交流】住民とカーリンコンで交流 (氷上で行うカーリングを屋内で行うカーリンコン)
12:00	昼食
13:00	【見学】除染廃棄物仮置き場見学 + 担当者の話 ・広大な仮置き場を歩き、線量を測る
14:30	【学び】野菜工場K i M i D o R i 見学 ・震災後に進出した企業を見学し、現状や経営状況について伺う
16:00	川内村出発
18:00	大学到着



南相馬市(6月4日)(人数 41名)

【目的】 津波・地震・原発による被害状況を知る
復興に向けた取り組みを知る

時間	内容
8:00	福島大学 出発
10:00	【学び】菅野漬物食品 社長講話 ・香の蔵にてお話を伺い、店舗見学をする
12:00	昼食(道の駅 予定)
13:00	【見学】津波被災地見学 ・小高区塚原地区など津波被災地をまわる
13:30	【交流】地域の方との交流イベント ・小高区の人と一緒にイベントを行う
16:00	南相馬市 出発
18:00	福島大学 到着



写真: 菅野漬物食品HP



金山町(6月11日)(人数 44名)

【目的】 原発から130km離れた地域の放射性物質による被害と影響を知る
町民との交流(農業体験)をとおして、超高齢化集落の実態を知る

時間	内容
8:00	福島大学 出発
10:30	金山町役場 到着 ・農林振興係職員から 金山町の地域概況と被害状況、対応について
11:00	【学び】マタギ猪俣昭夫さん講話 ・原発事故による自然の変化について ・ヒメマスの被害と保護について
12:15	昼食
13:15	【交流】町民とエゴマの植え付け体験 ・平均年齢84歳の町民で活動する「奥会津エゴマの会」 栗城栄二さんからエゴマの取り組みについて ・農業体験
16:00	金山町 出発
18:30	福島大学 到着



写真:いいね!奥会津ホームページ



経緯と今後

- 4月20日に 学生・教員に、**学外研修合同説明会**を実施済
 - 学生の保護者にも情報提供し、検討頂いた
 - これをもとに、学外研修の行き先・実施内容などを決定
- **現地のことを詳細に記したしおり**をもとに、事前に現地について学び、各自の目標を設定
- その**各自の目標を運営側で把握**し、下見を実施
- 見学後は**すべての参加者から振り返りシート**を回収
チューターとの振り返り、今回の学外研修の経験をもとに、**福島県内の被災地見学を組み入れた研修の在り方**を探る
- そして、**福島県の復興・地方創生に寄与する人材の育成・定着のすそ野を広げることへの寄与**を見通す

2016年度 福島大学 経済経営学類
新入生学外研修・被災地見学
各訪問先プランの取材、歓迎です
お問い合わせ等、下記までご連絡ください

福島大学 経済経営学類 学生生活委員

Tel: 024-548-8423

Mail: numata@econ.fukushima-u.ac.jp

担当: 沼田 大輔